

ホーム名：グループホーム やすらぎ						
自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念はわかりやすい場所に提示し入居者一人一人その人らしさを大切にし入居者の立場に立ったサービスの提供を職員に伝えています	理念「共に生きる」が、リビングの掲示板に掲げられている。理念に沿った支援が実践されている。	入居者の娘さんの揮毫で、まさにホームの姿勢が表れている。最終章の生活の場である「やすらぎ」では理念にかなった運営がされている。今後とも職員一同理念の周知と理解の継続に努められたい。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の町会の行事には出来るだけ参加したりボランティアの受け入れ中学生の職場体験の受け入れ等実施しています	町会への寄付や近隣のスーパーへの買い物などを通し、地域と日常的に交流している。またエステボランティアの受け入れや、近隣の中学校2校の職場体験学習としての場を提供している。	町会長さんが大変協力的だということで、心強い事である。町会の一員として、事業所として協力できる事なども相談してみたい。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	介護保険審査会の審査委員やキャラバンメイト、配職サービスのボランティアとして認知症の方を理解していただく為、スタッフが地域に参加しています	/		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議では家族さんの意見が多く聞かれるようになり介護相談員さんの参加によりアドバイスを受けることも多く、サービスの向上に役立っています	昨年度は5回の会議実績を持つ。出席家族（各回2家族代表）の都合の良い日を会議日とし、市高齢介護課担当長及び主査、尾生町町会長、介護相談員の参加を得、活発な意見交換がなされている。	市職員や町会長さんが大変協力的な様子である。現在、各回2家族と振り分けられているようであるが、参加出来る家族は自由に参加出来るしくみにしては如何か。婦人会、老人会、民生委員など幅広い参加も得られたい。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら協力関係を築くように取り組んでいる。	市町村担当者の方と運営推進会議を通じ事業所の実情理解していただいたりと従来より相談しやすい現状です	運営推進会議への参加を通して、密接な関係作りが図られている。また、それらの関係の下、市側からの相談や依頼なども引き受けるまでになっている。	市の担当者が事業所に足を運ぶ事により、事業所の実情や日頃のケアの様子がよく伝わる。今後共協力しあいながら、岸和田市の地域密着高齢者介護支援の発展に尽くしていった欲しい。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる	玄関の施錠も9:00～17:00まで開放し一切の身体拘束はしていません これからも取り組んでいきます	身体拘束等の禁止は、重要事項説明書や運営規定にもしっかり謳われ、職員にも理解され実践されている。日中は玄関も開放され、入居者は自由に入出りできている。	「指定基準において禁止の対象となる具体的な行為」の禁止だけに留まらず、言葉を遮ったり気持ちを押しえついたりする事も高齢者虐待であることの認識を職員一同理解して欲しい。	
7		○虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所ないでの虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	昨年9月に講師を招き高齢者虐待防止の勉強会を開催しました研修の参加も家族さんに周知していただきました	/		

8	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>入居者の方で成年後見人制度を利用されている方がおられます 職員研修も積極的に参加しています</p>		
9	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>十分に時間を取って説明し理解を得ております</p>		
10	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者の意見を聞き速やかに対応し運営に活かしています</p>	<p>「意見箱」が設置され、「相談・苦情受付カード」及び筆記用具も備え付けられている。昨年指摘のあった、公共苦情窓口の電話番号も明示されている。運営推進会議時等に家族からの意見や要望を聞く機会を持つ。</p>	<p>管理者及び職員と家族との信頼関係が強く感じられ、各家族からも心置きなく意見や要望が寄せられていると拝察する。入居者・家族・ホームで意見や要望を反映しながら、より良いホームを作り上げていって欲しい。</p>
11	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている</p>	<p>カンファレンスを週1回行い職員の意見は反映出来るよう努力しています</p>	<p>管理者は常に職員の様子に気を配っており、普段から職員の声に耳を傾ける姿勢でいる。また、職員には毎回の会議で課題の提議を担わせ、提案の機会を設けている。</p>	<p>「書式の改訂、家族へのお便り充実を考えているが、現在のパソコンは古く、作成できない」との職員からの意見があった。時として自宅に持ち帰ることにつながる。運営体のご英断で日常業務に支障のないパソコン導入をお願いしたい。</p>
12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>代表者は病院の理事長であり話し合いは一切ありませんが就業規定に定義されており管理者が勤務表を作る時各自の希望を聞いたり就労条件の整備に努めています</p>		
13	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>資格取得推進の為の協力は惜しみません 研修・実践者研修の受講を実施しています</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他施設との情報交流会の実施 事業者連絡会の参加等の交流を行っています</p>		

Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居前には必ず施設に何度か家族さんと来ていただいたり 家庭訪問をさせていただきます</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居後は密にカンファレンスを行い頻回に家族さんと連絡しております</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>他のサービス、施設紹介も実施施設見学も推奨しています</p>		
18	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>利用者の方から学ぶ事も多く尊敬する事もあります 常に家族と同じ思いで暮らしを共にしています</p>		
19	<p>○本人と共に過ごし支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族さんが大変協力的で本人を支えていく気持ちが大きいと思います 家族さんとも納得のいく話し合いの場を持つようになっています</p>		
20	<p>○馴染みの人や場と関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>馴染みの店に出掛けたり 岸和田城、牛滝山等有名な場所にはよく出かけます 近くのお大師さんの月参りはかかせません</p>	<p>「買い物マップ」を作成し、車での買い物を楽しんでいる。女学校時代の友達が大阪から訪ねて来てくれるなど馴染みの人や場所との関係が途切れない様、支援を続けている。</p>	<p>今後も、思い出の地への訪問や馴染みの店への買い物など、引き続きの支援をお願いしたい。</p>
21	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者間の意思疎通を図る為常に職員が見守り、テーブルの位置やお手伝いの内容等配慮しています</p>		
22	<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>死去された方の葬式の参列や退居先 入院先に行かせていただいています</p>		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	家族さんからの情報提供や外出先、外食等本人の意向に添えるよう配慮しています	普段から情報収集に努め、気づきなどに心掛けながら思いや意向を掴むよう努力している。職員は入居者の気持ちを8割方掴めていると感じている。	高齢者介護は気持ちをくみ取ることが一番大切と考えている。「[そのように考えて入居者を見ていると80%くらい見えてくる]との管理者の話は現場からの貴重な意見である。職員一同の更なる研鑽を期待する。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める	入居の際にアセスメントを記入していただき情報収集し新たに得た情報はスタッフが記入し共有しています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	朝夕の申し送り週1回のカンファレンスで話し合いの場を設けています 些細なことも連絡ノートに記入し共有しています		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	必要に応じて介護計画の見直しをしています その後必ずモニタリングを順次スタッフが行います 暮らしに密着した計画を作成しております	毎週火曜日の午前にかかり付け医（併設病院）の診察があり、カンファレンスは新鮮な情報の下に行う事が出来ている。普段は6ヶ月を見直し期間とし、出来る事をプランに立てている。	今後も、関係者の意見やアイデアを反映し暮らしにのっとった介護計画の作成を行なって欲しい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録は共有し 全員把握しています 毎日の個別記録を参考にし介護計画の見直しやカンファレンスを行います		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとられない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	一階にデイケアがあり交流の機会もあります 主体の病院も前に位置しすぐに協力が得られます		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	老人会の催しやボランティアの受け入れをしています 毎日の散歩等近隣の方と対話します		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	併設病院の主治医がすぐに対応していただけます 休日、緊急時でも対応して下さいますが 必要時は看護師(管理者)が適切に支援しています	かかりつけ医は入居者家族の要望に沿って受診している。健康診断、緊急時、容変時には同法人の内科医師と連携のもと支援している。	同法人の医師と看護師である管理者のもと日常的には医療面は充実しているといえる。家族の要望に沿った受診についても、管理者が入居者のかかりつけ医受診に同道することも有る。

31	<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している</p>	<p>管理者が看護師であり長年高齢者の医療に携わっていたので迅速な対応を心掛けています</p>		
32	<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>併設の病院にはしょっちゅう管理者が出向き情報交換しています 遠方の家族さんに対して洗濯物等施設で行い援助しています</p>		
33	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時にお話をしてもなかなか実感される家族さんは少ない為ある程度の時期に家族さんと向き合って対話します その時はそれぞれの思いを文章にし保存しております</p>	<p>家族と折に触れ重度化した時の方針を話す機会を持っている。日々の入居者の生活ぶりをしっかり伝え、家族の方針も聞き、「やすらぎ」で出来ること、出来ないことを伝えて、その記録をのこし、家族にも渡している。本ホームで看取った例も有る。</p>	<p>日々の生活ぶりを家族へ伝え、家族の考えを聞き取り、方針に副って本ホームで出来ること出来ないことを共有している。高齢者であり、重度化することは避けられないことに対し、対策はとられている。</p>
34	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>応急手当は実践出来ています ミーティング時管理者からアドバイスする事が多く 職員教育は出来ています マニュアルも有意義に利用しています</p>		
35	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>避難訓練を実施 散歩時も時々非常階段を利用しています 町内会、併設病院等協力体制はお願いしております</p>	<p>天災、火災を想定して消防署の訓練と事業所内訓練を年に2回している。分担、連絡網も決め事務所に掲示している。夜間は同法人の病院からの支援を得ることになっている。</p>	<p>災害時は全ての出入り口、窓などが開放されるシステムを導入している。煙に対する対策には有効と考える。災害備蓄品は同法人の病院に備え付けられているが飲料水だけでもホーム内に備えることを考えられたい。</p>

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>個人情報である記録等は保管場所を決め施錠できるようになっています。居室への訪問は必ず声かけを行い言葉づかいもスタッフ間で協議します</p>	<p>個人記録は事務所の鍵のかかるロッカーに保管している。記録に必要なカウンター上の個人ファイルも、氏名に配慮し目に触れないように事務室向きにセットされている。言葉かけについて職員が不適切な発言をした時は、その都度注意して徹底を図っている。</p>	<p>管理者は入居者のプライバシー保護、尊厳の確保についてその都度指導することで、職員の質の向上を図っている。管理職に続く後継職員たちもその方針を共有できている。</p>
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>個別対応を大切にしています 今までの生活習慣を配慮し支援しています</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>朝みんなで日課を決めます 入床、起床時間は決めていません 外出時は各個人の希望に沿った場所へ行けるよう支援します</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	<p>定期的にカットや顔そりに行きます 毛染め マニキュアを行いボランティアによるエステを月に1回行っています</p>		
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>盛り付けや片付けは入居者の方と職員と一緒にいきます 職員も一緒に食事をしています</p>	<p>食事の時間は入居者・職員が一緒に食卓につき、家庭的な雰囲気を取れている。嚥下の難しい入居者にはミキサー食にしたが、必ず職員が味を確認しておいしいものを提供し、体調が回復した例がある。月に1回程度、おやつを作ったり、たこ焼き、お好み焼き昼食を取り入れている。その時は大変盛り上がるのと事である。</p>	<p>職員は検食者以外はお弁当である。皆同じ食事を取ることになるともっと楽しい時間となるのではと考える。昼食パーティーの時、嚥下の難しい入居者もお好み焼きやたこ焼き（食べ易く工夫）をつまんで食べて、楽しい輪の中に参加できた。</p>
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、集会に応じた支援をしている</p>	<p>栄養士による献立にてバランスよく食事が作られています 水分摂取は確保できるよう配慮しています 要求のある方には配茶をし居室に置いています</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>各自食後すぐにDRにて口腔ケアを行い、入れ歯は夜間ポリドントにつけます 居室での口腔ケアも確認します</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>トイレ誘導 紙パンツ パット紙オムツ等各自に合わせ支援しています 排便、排尿の時間や有無は記録し共有する事で把握し支援しています</p>	<p>入居時にオムツを使用している方がオムツが取れるようになることは中々難しいが、リズムをつかみ極力失敗の少なくなる支援を続けている。緩下剤も使用している。</p>	<p>便秘予防として献立に野菜・果物で繊維質を摂り、水分も個人差はあるものの1200mlを目安に支援している。緩下剤の使用も便秘になることを考えると致し方ない。</p>
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>朝食時、おやつ時 フルーツの提供も多く水分摂取量、運動量も便秘の予防対策として対応しています</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>入浴の時間帯、曜日は決めています 本人のタイミングや希望体調により臨機応変に対応しています 夏場のシャワーや必要時支援をしています</p>	<p>入浴日を一応《月水金》《火木土》とグループに分けているが、必要に応じ、また入浴の希望があればグループ分けに捉われず、お風呂に入ってもらっている。お湯はオーバーフローで殆ど入れ換えた状態で1人づつが入っている。</p>	<p>一人づつゆっくり着替えの見守りに時間もとり、入居者が出来ることを職員の都合で手を出さない支援を続けている。今後とも継続されたい。</p>

46	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>起床時間入床時間は決めていません 散歩やレクの合間は居室で臥床したり ソファで休息したりと自由に生活されています</p>		
47	<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>服薬リストは職員がいつでも見られるよう事務所に保管 カンファレンス時等管理者から説明する事が多いです</p>		
48	<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>食事の準備、片付け、洗濯干しなど個人の力をみきわめ手伝っていただいたり 個人の花壇を作り 手入れ、水やりをしていただいています</p>		
49 18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している</p>	<p>毎日散歩に出かけます 買い物時は菓子や漬物の購入等ありません 桜の花見時は家族さんの同行もあります</p>	<p>毎日の散歩は天気がよければ殆ど欠かさずで行っている。冬でも余程寒くない限り出かけて四季の変化を肌で感じつつ、近所の方にも挨拶を交わし、地域に住んでいることを感じる支援をしている。</p>	<p>散歩とは別に買い物には何軒かの店舗をその日の都合で行く。おすし屋さんにもグループに分けて出かけることもある。中遠出のお花見など、変化のある生活を送ってもらう支援をしている。</p>
50	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>数人の方がお金を所持していません 月参りのお寺にお賽銭を出したり電話をかける際に使っています</p>		
51	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>職員が支援し電話をかけた手紙、ハガキのやりとりは実施しています</p>		
52 19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>壁に季節の飾りつけをしたり 中庭からの採光は充分取り入れています 温度計の設置 空気清浄機の設置等 居心地のよい環境にしています トイレも広く使いやすくなっています</p>	<p>共有空間は広く回り廊下に面して居室、トイレが並んでいる。中央には吹き抜けの中庭があり、植木鉢や亀の水槽を置き心安らぐ空間となっている。中庭からの採光も充分で、太陽光溢れる明るいリビングである。壁には入居者・職員で共同制作した季節感のある壁飾りが掲げられている。廊下の壁には入居者の方々の書が掛けられている。</p>	<p>共有空間は広く明るい。装飾も華美にはならず、入居者家族が書かれた理念の額もある。申し分ない共有空間であるが、これから更なる工夫が楽しみである。</p>
53	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共有空間は有意義に活用し椅子を置いたり ソファを配置しています</p>		
54 20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室内も広い為個人の愛着のある家具等多くのものを配置していただいています 家族さんも多くの写真や飾り物を持って来られ 一緒に楽しんでいます</p>	<p>家族の写真、馴染みの家具やテレビを持ち込んで生活できている。居室には時計、カレンダーも設けられている。</p>	<p>ベッドの外に馴染みの家具や机を持ち込んでさほど狭さを感じないほどのスペースがあり、各部屋の押入れも十分広く作られている。入居者にとってこの広さは充分落ちついた生活が来ると考えられる。</p>
55	<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>レクリエーションは数多く取り入れ各個人の得意な事出来る事を支援しています 家事の手伝いも個人の能力にあった事を手伝っていただいています</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての利用者と ②利用者の3分の2くらいと ③利用者の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどいない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
66	職員は生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族が ②家族の3分の2くらいが ③家族の3分の1くらいが ④ほとんどできていない